

サークル ① 仲間

車いすでシヤルウイダンス

NPO法人 日本車いすダンススポーツ連盟
スタジオRAINBOW

車いすダンスの普及を通し、高齢者や障害者の生きがいづくりを支援している鹿又のスタジオRAINBOWの皆さんをご紹介します。

フルツにタンゴ、ルンバにチャチャチャと、軽快な音楽に乗り、ワン・ツー・スリー、ワン・ツー・スリー。

車いすダンスは、自然に心がウキウキしてきて、勇気と元気がわいてくるダンスです。



サークルはまだまだ小さいですが、老人ホームでの披露や交流、健常者の社交ダンスパーティーへの参加、このほか出張指導も行い、車いすダンスの魅力を伝えながら、笑顔と友情の輪を広げています。

このような活動の成果として、スタジオRAINBOWの代表者で指導者でもある佐々木さんが、昨年12月に東京の国立オリンピック青少年総合センターで開催された第4回全日本車いすダンススポーツ選手権大会に初挑戦し、ピギナー戦クラスIIスタンダードで見事6位入賞を果たしました。

どんな人でも、楽しく踊ることにより、生きる喜びを得ることができ、それが車いすダンスの魅力です。「これからももっと多くの方と共に喜びを感じていきたい」と佐々木さんは語ります。

体験コーナーもありますので、興味のある方はぜひ立ち寄ってみてはいかがでしょうか。そして一緒に踊ってみませんか？
☎74-2248 佐々木まで

羽ばたけ! 若人 ②

みんなの広場



平成17年8月に東京都の日本武道館で開催された第41回和道会全国空手道競技大会で、個人組手少年女子の部と団体組手一般女子の部で2冠を達成した大森美和さんをご紹介します。

「部活のメンバーでの最後の試合。とても楽しむことができました。」

ました」と語る大森さん。

空手を始めたのは小学2年生のとき。幼稚園のころからやりたいと思っており、近所に空手道場ができたのをきっかけに入門しました。

練習がいやになったこともあったそうですが、高校入学後は、1年生のときからレギュラーとして活躍。先輩が引退してからは、副キャプテンも務めました。高校生活で一番楽しい時間は部活だったそうです。

みわ
大森 美和さん(桃生町神取)
(石巻市立女子高校3年)

卒業後も、大学に進学し空手を続けるとのこと。目標は今年5位だった『国民体育大会で優勝すること』だそうです。

みんなの広

「毎日しつかり

食べること」

伊藤さか江さん(雄勝町水浜)100歳

長寿のひけつ

⑪



今月は、1月16日に百歳の誕生日を迎えた伊藤さか江さんをご紹介します。

本当に百歳？これが伊藤さんとお会いした時の率直な第一印象です。

若いころから読書などの読み書きが趣味だったこともあり、伊藤さんの記憶力は抜群で、なつかしい思い出話などをよく家族の方々に話してくれるそうです。

現在は長男夫婦と3人でのおんびりと暮らしています。孫が13人、ひ孫が20人もいます。「尋ねてくれる孫やひ孫たちと遊んだり話をするのが、一番の楽しみ」と話してくれました。

長寿のひけつを尋ねた

ところ、「毎日3食しつかりと食べる」とのことです。好きな食べ物、かぼちゃ、芋煮魚の煮つけや焼き魚で、おやつにさつまいもや飴も食べているそうです。家族の方々は「自分自身のことは何でも自分でしようとする芯の強さが健康のひけつでは」と話してくれました。

やさしい雰囲気、周囲の人たちを和ませてくれる伊藤さん。これからも元気で長生きしてください。



にぎやか家族

長浜町

五十五人



(写真左から)

千葉 美香子ちゃん(11歳) まさなお 正直くん(6歳) まりこ 万里子ちゃん(9歳)

<ママからのひとこと>

いつも元気いっぱいの子3人！これからも、ずっと仲良くしてね！

<子どもたちの夢>

美香子ちゃん…精神科医 正直くん…プロの野球選手
万里子ちゃん…漫画家



(写真左から)

遠藤 耀一くん(9歳) りょうた 諒太くん(2歳) なおき 尚暉くん(6歳)

<パパとママから>

兄弟仲良く元気にたくましく育ててほしいです。

<子どもたちの好きなこと>

耀一くん…カードダス、尚暉くん…カードダス、諒太くん…たいこ